

公開セミナー 特別講義

Present Features of Health Resort Medicine in Europe

ヨーロッパにおける
ヘルスリゾートメディシン(健康保養地医学)の現状について

開催日時：2010年 7月 30日(金曜日)
午後 6:00～8:00

場 所：東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 共用講義室1

主 催：教養部 保健体育学研究室

協 力：一般社団法人 健康保養地医学研究機構

連絡先：内線(教養部)7136 水野 (外部より047-300-7136)

ドイツを中心としたヨーロッパ諸国では、温泉、気候、地形そして自然環境(森林・山岳・海岸など)を活用したヘルスリゾートメディシン(健康保養地医学)が発達している。

多くが公的年金などの社会保障サービスとして、治療やリハビリテーション、慢性疾患予防を行うシステムや施設が整備され、提供されている。

公的支援のもと予防とその再発防止に力点を置き、患者のQOLに配慮したサービスを提供するシステムには、日本の医療従事者が学ぶ点が多い。

本セミナーでは、健康保養地医学・温泉医学の日本の第一人者 阿岸 祐幸氏(北海道大学名誉教授)とヨーロッパにおけるヘルスリゾートメディシンの第一人者であるアルベルト・ファルケンバッハ氏(A. Falkenbach: フランクフルト大学教授・オーストリア年金リハビリテーション病院院長教授)を招き、その現状を解説する。



写真左 ファルケンバッハ氏
右 阿岸 祐幸氏

ファルケンバッハ氏が院長を務めるリハビリテーション病院は、オーストリア西部の山間地の温泉保養地に立地し、年金基金により運営されている。